

脳の講習会～発展～

2011年度の脳の講習会は、すでに脳についての基礎知識があり、脳研究を目指している学部生、大学院生などを対象にして4回実施する。内容は視感覚・知覚、運動・行為、記憶、情動・動機づけについて、従来とは異なる方向性、今後の発展が予想されるテーマに関して述べる。

時間：すべて15:00～17:00

※参加無料・事前登録不要 開催は全て三田キャンパス

対象：若手研究者、大学院生、学部生を問いません（他大学・学部の方も参加可能）

講師：小嶋祥三（慶應義塾大学文学部心理学専攻・前教授）

会場：三田キャンパス 東館4Fセミナー室

8月1日：視感覚・知覚

これまで網膜から始まり高次視覚野に至るフィードフォワードの流れが話題の中心になってきた。今回は高次視覚野やさらには前頭・頭頂連合野からのフィードバック機能について述べる。

8月2日：運動・行為

これまでは連合野から一次運動野、脊髄に至る出力系に話題が集中していた。今回はミラー・ニューロン研究の発展や自他の行為の理解について述べる。

8月3日：記憶

記憶について計算論が想定し動物で検討されている海馬を含む内側側頭葉の諸機能に関して、ヒトの脳機能画像研究がどのような結果・成果を出しているかについて述べる。

8月5日：情動・動機づけ

情動に関しては従来基本的な情動についての研究が多かった。最近は複雑な情動の脳画像研究が多い。また、報酬・罰による行動の変容に関する研究が盛んに行われている。これらの点について述べる。

会費無料、事前登録は不要、使用言語：日本語

主催・企画：慶應義塾大学グローバルCOEプログラム「論理と感性の先端的教育研究拠点」
研究成果発信・支援プログラム委員会 小嶋祥三

<http://www.carls.keio.ac.jp/>

E-Mail : keiocarls@info.keio.ac.jp